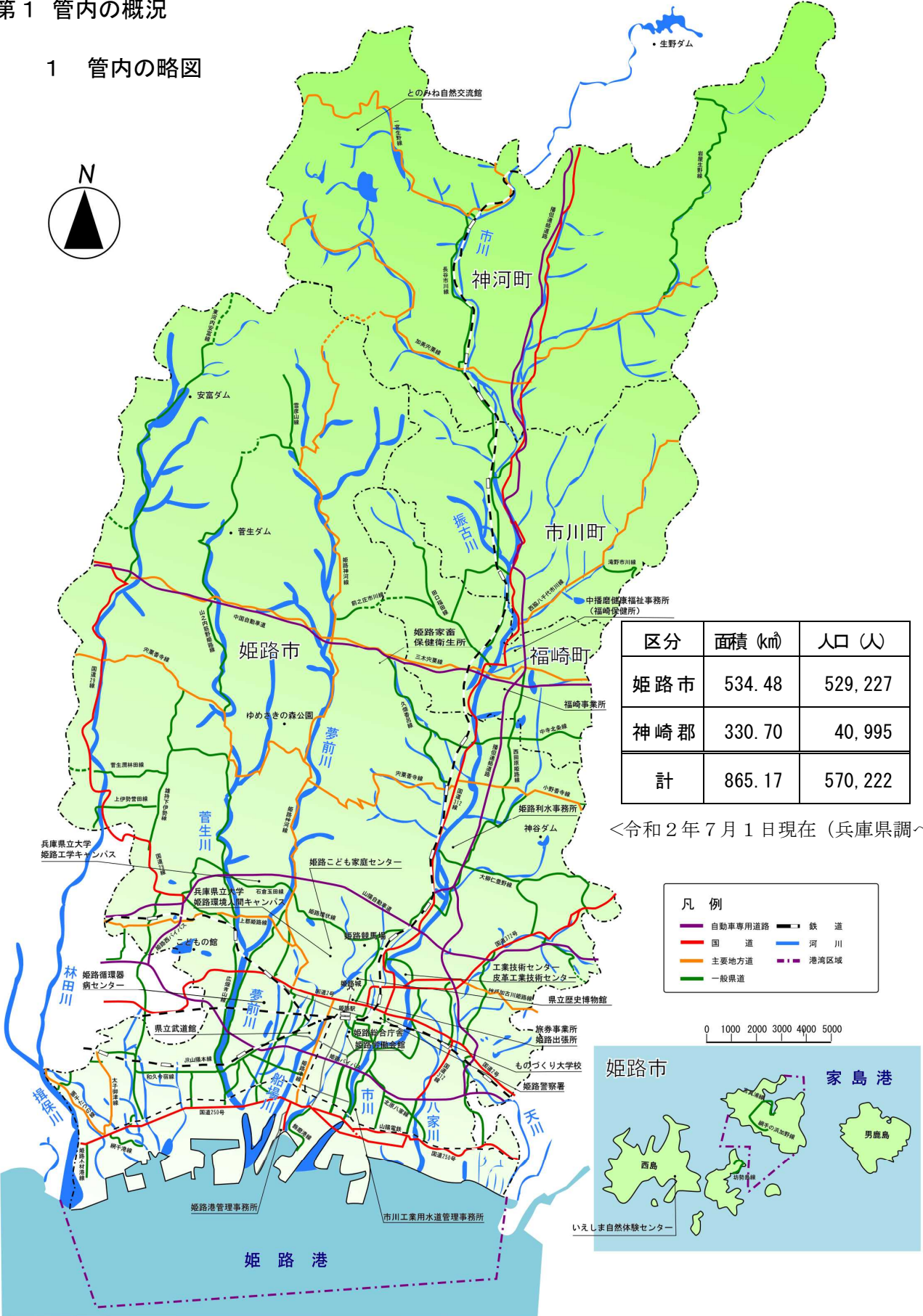


第 1 管内の概況

1 管内の略図



中播磨県民センター管内区域：姫路市・神崎郡（神河町、市川町、福崎町）
 ただし、まちづくり建築課、建設業課の業務は、西播磨県民局管内区域を含む。水産課、漁港課の業務は、西播磨県民局管内の海面漁業に関する区域も含む。

2 管内の現状と課題

(1) 位置、地勢

中播磨は、兵庫県南西部に位置する南北 66 km、東西 45 km に及ぶ地域で、総面積は 865.17 km² であり、県土の 10.3% を占めている。北部は中国山地を形成し、南部は瀬戸内海に面している。

当地域の大部分は耕地と森林（地域の 73.8%）である。また、臨海部は播磨臨海工業地帯を形成している。

(2) 歴史

神河町・福本遺跡から旧石器時代の特徴を示す剥片石器が出土し、姫路市・辻井遺跡から縄文時代の人骨も発見されるなど、中播磨には古くから人々が定住していたことがうかがえる。

7 世紀に播磨国の国府が現在の姫路に置かれ、8 世紀には国分寺も建立されるなど、姫路が播磨の中心となった。

室町時代に入ると、豪族赤松氏によって姫山にとりでが築かれ、その後豊臣秀吉が天守閣を持つ姫路城として造りかえ、播磨統治の拠点とした。次いで、姫路に入った池田輝政が現在の名城を築きあげ、姫路藩は、備前、淡路を合わせて姫路百万石と言われる雄藩となった。

明治 4 年の廃藩置県により、播磨には姫路県（後に飾磨県と改称）が置かれたが、明治 9 年には兵庫県、豊岡県などと統合され現在の兵庫県となった。

(3) 人口

人口 570,222 人（令和 2 年 7 月 1 日現在）が居住しており、県総人口の 10.5% を占めているが、このうち 92.8%（529,227 人）が姫路市に集中している。

区 分	国勢調査(平. 22. 10. 1 現在)		国勢調査(平. 27. 10. 1 現在)		令和 2 年 7 月 1 日現在	
	人口 (人)	世帯数	人口 (人)	世帯数	人口 (人)	世帯数
兵庫県	5,588,133	2,255,318	5,534,800	2,315,200	5,446,299	2,399,046
中播磨	581,677	220,389	579,154	227,839	570,222	238,961
姫路市	536,270	205,587	535,664	212,801	529,227	223,453
神河町	12,289	3,813	11,452	3,798	10,597	3,843
市川町	13,288	4,350	12,300	4,334	11,194	4,407
福崎町	19,830	6,639	19,738	6,906	19,204	7,258
中播磨／県	10.4%	9.8%	10.5%	9.8%	10.5%	10.0%

(注) 兵庫県企画県民部統計課「推計人口」、国勢調査（確定値）

(4) 産業

中播磨地域は全県と比較して第二次産業のウエイトが高く、第三次産業のウエイトが低い地域である。

区 分	産業別就業人口 (人)	構成比 (%)			
		第一次	第二次	第三次	分類不能
兵 庫 県	2,443,786	2.0	25.0	69.0	4.0
中 播 磨	266,024	1.2	31.5	63.6	3.7

(注) 総務省統計局「平成 27 年国勢調査報告」(平成 27 年 10 月 1 日現在)

区 分	市町内総生産 (億円)	構成比 (%)		
		第一次	第二次	第三次
兵 庫 県	213,097	0.6	27.7	71.7
中 播 磨	26,349	0.4	31.4	68.2

(注) 1 兵庫県企画県民部統計課「平成 30 年度市町内 GDP 速報」

2 市町内総生産＝第一次産業＋第二次産業＋第三次産業＋輸入品に課される税・関税

3 構成比は、第一次、第二次、第三次産業の合計を 100%として算出

ア 農林水産業

農業については、都市近郊の立地条件を活かして新鮮で安全な農産物を生産し、地域住民等に供給している。また、農業従事者が高齢化するなかで、集落営農組織が育成され、地域農業の担い手となっている。林業については、森林資源が充実しており、間伐等による健全な森林の造成や担い手の育成等を図りながら、木材の利用促進に努めている。さらに水産業については、漁船漁業と養殖業を組み合わせた安定的な漁業経営が行われている。

(ア) 農家戸数、耕地面積

区 分	農家戸数 (戸)	農家割合 (%)	主業農家 (戸)	主業率 (%)	耕地面積 (㌥)			一戸当たり 耕地面積 (㌥)
					水田	畑	計	
兵庫県 (a)	81,416	3.5	4,530	5.6	67,200	6,260	73,400	90.2
中播磨 (b)	10,025	4.3	155	1.5	6,535	345	6,880	68.6
(b) / (a)	12.3%	—	3.4%	—	9.7%	5.5%	9.4%	—

(イ) 主要農作物の状況

区 分	兵庫県 (a)	中播磨 (b)	(b)/(a)
水 稲(t)	182,000	15,240	8.4%
麦 類(t)	3,870	1,068	27.6%
野 菜(t)	282,810	9,726	3.4%

(ウ) 畜産物の状況

区 分	兵庫県 (a)	中播磨 (b)	(b)/(a)
畜産農家数(戸)	1,721	39	2.3%
乳用牛(頭)	13,420	420	3.1%
肉用牛(頭)	53,100	3,250	6.1%
豚(頭)	19,075	1,161	6.1%
採卵鶏(千羽)	5,584	932	16.7%
ブロイラー(千羽)	2,674	40	1.5%

(エ) 林産物の状況

区 分	兵庫県 (a)	中播磨 (b)	(b)/(a)
森林面積(ha)	560,148	56,932	10.2%
うち民有林(ha)	530,066	54,906	10.4%
林業労働者数(人)	794	106	13.4%
素材(材料用途)(m ³)	469,000	29,041	6.2%
苗木(千本)	276	44	15.9%

(オ) 水産物の状況

区 分	兵庫県 (a)	中播磨 (b)	西播磨 (c)	(b)/(a)	(c)/(a)
漁業経営体数(体)	2,712	467	131	17.2%	4.8%
漁獲量総量(t)	40,096	10,589	875	26.4%	2.1%
のり生産枚数(百万枚)	1,361	202	40	14.8%	2.9%
養殖かき生産量(t)	8,652	2,175	6,477	25.1%	74.9%

(注)・(ア)、(イ)の「水稲」・「麦類」、(オ)の「漁業経営体数」・「漁獲量総量」・「養殖かき生産量」については、「第68次兵庫農林水産統計年報(平成30年～令和元年)」により記載。

- ・(イ)の「野菜」については、統計年報において市町別の数値が公表されなくなったことから「第56次兵庫農林水産統計年報(平成18年～19年)」により記載。
- ・(ウ)については、畜産課調べ(平成31年2月末)により記載。
- ・(エ)は、平成30年度兵庫県林業統計書
- ・(オ)の「のり生産枚数」は、平成30のり年度(平成30年12月～31年5月)共販実績(県漁連調べ)

イ 商業

卸売・小売とも姫路市内に集中している。特に、姫路駅周辺の再開発事業に伴いテラツト姫路など商業施設が新たにオープンし、小売の出店が増加している。観光客の増加等、一部明るい材料もあるが、経営者の高齢化・後継者不足、消費者の購買行動の変化など、中小小売業者を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にある。

(卸売・小売事業所等の状況)

		平成 26 年 ※年間商品販売額は平成 25 年	平成 28 年 ※年間商品販売額は平成 27 年
卸売・小売事業所数 (店)	中播磨	5,327	5,436
	卸 売	1,372	1,412
	小 売	3,955	4,024
	兵庫県	41,549	42,050
	卸 売	9,329	9,393
	小 売	32,220	32,657
従業者数 (人)	中播磨	40,538	43,524
	卸 売	12,201	12,795
	小 売	28,337	30,729
	兵庫県	326,123	352,423
	卸 売	78,838	87,893
	小 売	247,285	264,530
年間販売額 (億円)	中播磨	16,083	17,590
	卸 売	10,567	11,376
	小 売	5,516	6,214
	兵庫県	121,079	143,794
	卸 売	71,506	89,166
	小 売	49,573	54,628

(注) ・兵庫県企画県民部統計課

「平成 26 年商業統計調査 (確報)」

「平成 28 年経済センサス活動調査 (卸売業・小売業) (確報)」

(卸売・小売事業所数の市町別内訳)

区 分	平成 26 年	平成 28 年
姫路市	4,942	5,044
市川町	76	72
福崎町	207	211
神河町	102	109

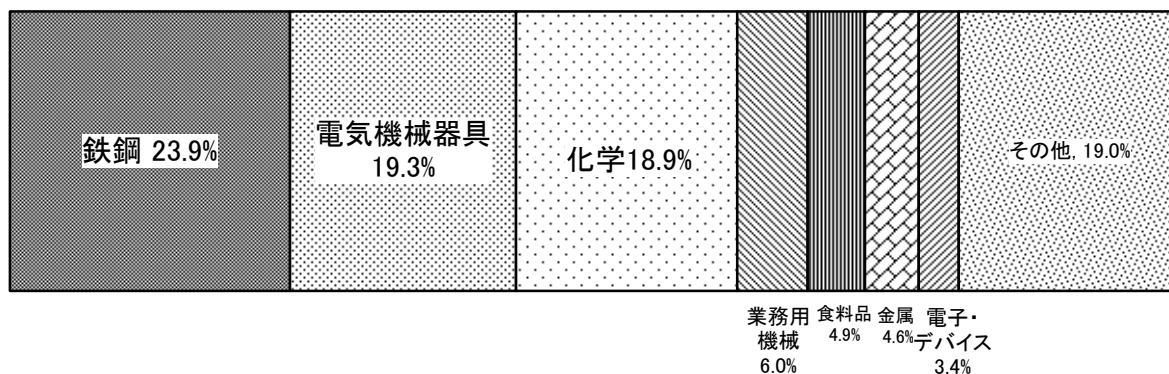
ウ 工業

臨海部は、鉄鋼・化学等の素材産業と電気機械・一般機械等の加工組立型の製造業を中心に発展し、全国有数の工業地帯を形成している。内陸部では、高速道路沿いの工業団地を中心に電気機械・一般機械等の企業が立地している。

	区分	平成 29 年 ※製造品出荷額等は 平成 28 年	平成 30 年 ※製造品出荷額等は 平成 29 年	令和元年 ※製造品出荷額等は 平成 30 年
製造事業所数 (4人以上事業所)	中播磨	1,128	1,101	1,057
	兵庫県	7,996	7,798	7,603
従業者数(人)	中播磨	53,294	54,760	55,251
	兵庫県	356,782	361,956	363,448
製造品出荷額等 (億円)	中播磨	25,023	26,347	27,726
	兵庫県	151,054	156,659	164,870

(注) 兵庫県企画県民部統計課「平成 28 年経済センサス調査(製造業)(確報)」
「平成 29 年工業統計調査(確報)」 「2019 年工業統計調査(速報)」

中播磨の製造品出荷額等構成比



(5) 観光、レクリエーション

中播磨地域は、南部に瀬戸内海国立公園を、北部に県立自然公園を有する自然景観に恵まれた地域であり、各市町に自然を生かした体験型施設などもあることから、家族連れ等の人気を得ている。

令和元年度の入込客数は、前年度に比べて、38 千人(3.7%)増加。姫路城周辺の入込客数の増加、特に姫路市美術館では「チームラボ展」が好評であったため、姫路市への入込客数自体が前年度に比べて増加した。

第4半期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年度同期に比べて大幅に減少(△32.8%)した。

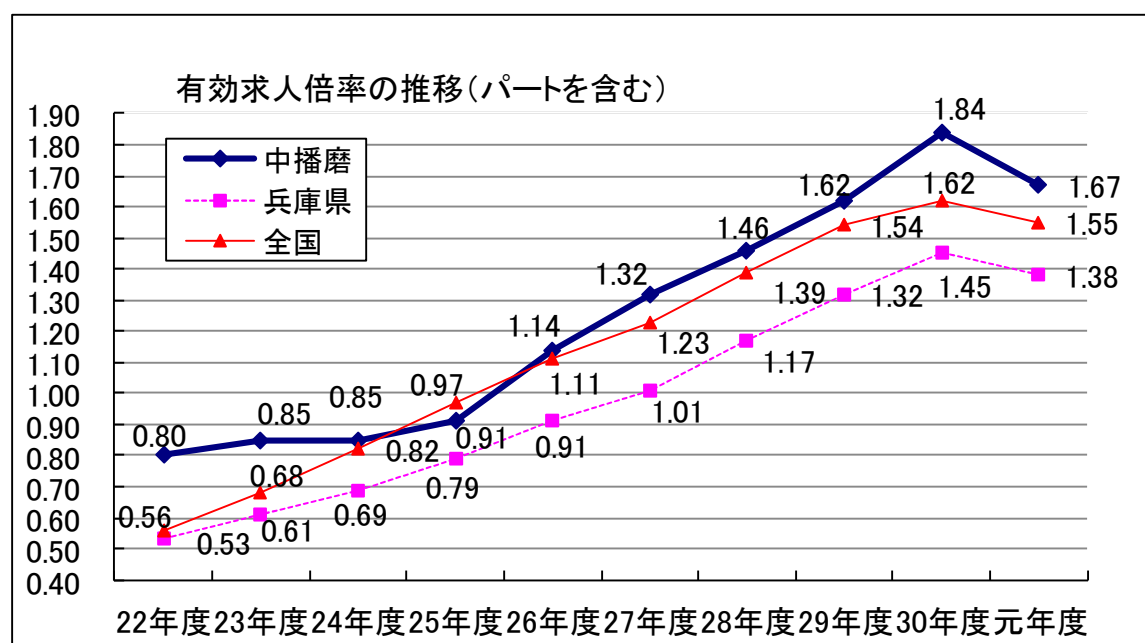
観光客総入込数の推移

項 目		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
総 入 込 数		千人 10,963	千人 10,328	千人 10,366
日帰り・ 宿泊別	日 帰 り 客	9,867	8,871	9,385
	宿 泊 客	1,096	1,457	981
四 季 別	第 1 四半期(4月～6月)	2,870	2,565	3,063
	第 2 四半期(7月～9月)	2,592	2,332	2,613
	第 3 四半期(10月～12月)	3,061	2,954	3,026
	第 4 四半期(1月～3月)	2,440	2,478	1,664

(注) 兵庫県産業労働部観光振興課「観光客動態調査」

(6) 雇用情勢

中播磨の有効求人倍率(パートを含む)は、平成21年度以降右肩上がりに推移していたが、令和元年度は、求人票の記載項目拡充による提出見送りの動きや、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で下降する結果となった。



(注) 厚生労働省兵庫労働局「月報ひょうご」

(7) 税収

令和元年度の管内の県税収入決算額は 53,186 百万円で、法人事業税が非製造業の業績好調により前年度より増収 (106.5%) となるほか、個人県民税が個人所得の増加等により前年度より増収 (102.7%) となり、全体で平成 30 年度を 0.8% (411 百万円) 上回った。

令和 2 年度の県税収入見込額は 52,865 百万円で、個人県民税が前年度に引き続き増収 (102.3%) となると見込まれるものの自動車税種別割が課税台数の減少により減収 (99.1%) となること等から、全体で令和元年度を 0.6% (321 百万円) 下回ると見込んでいる。

今後、新型コロナウイルス感染症による影響等、税収動向に十分注視していく。

(単位：百万円、%)

区分	令和 2 年度見込額			令和元年度決算額		
	収入額	構成比	前年度比	収入額	構成比	前年度比
中播磨県民センター	52,865	7.0	99.4	53,186	7.5	100.8
主な税目	個人県民税	21,433	40.5	20,948	39.4	102.7
	法人事業税	15,839	30.0	15,674	29.5	106.5
	自動車税種別割	8,286	15.7	8,365	15.7	99.8
全 県	750,000	—	105.5	710,589	—	100.0

(注) 中播磨県民センター欄の構成比は県税収入全体における構成比を、主な税目欄の構成比は中播磨県民センターの税収入における構成比を示している。

(8) 交通

ア 道路

(ア) 東西道路

中国自動車道、山陽自動車道、国道 2 号姫路バイパスを幹線に、国道 2 号・250 号・372 号並びに主要地方道姫路上郡線・加美宍粟線・三木宍粟線及び一般県道等で構成されている。

(イ) 南北道路

播但連絡道路、国道 29 号姫路西バイパス・姫路北バイパスを幹線に、国道 29 号・312 号並びに主要地方道姫路神河線・西脇八千代市川線及び一般県道等で構成されている。

区 分		延長(a) (m)	うち改良済(b) (m)	改 良 率 (b)/(a)	うち舗装済(c) (m)	舗 装 率 (c)/(a)
一般国道	全 県	877,487	841,524	95.9%	877,487	100.0%
	中播磨	92,832	92,377	99.5%	92,832	100.0%
主要地方道	全 県	1,555,810	1,447,985	93.1%	1,538,320	98.9%
	中播磨	161,962	141,196	87.2%	156,780	96.8%
一般県道	全 県	2,403,977	1,718,266	71.5%	2,199,762	91.5%
	中播磨	273,064	222,173	81.4%	262,760	96.2%
合 計	全 県	4,837,274	4,007,775	82.9%	4,615,569	95.4%
	中播磨	527,858	455,746	86.3%	512,372	97.1%

(注) 中播磨県民センター姫路土木事務所「道路台帳調書」(令和 2 年 4 月 1 日現在)

イ 鉄道

J R山陽新幹線、J R山陽本線が東西に通じている。また、山陽電鉄本線が姫路から神戸へと伸び、J R播但線、J R姫新線が都市部と山間部を結んでいる。

J R姫新線については、利便性向上と利用促進を図るため、平成 18 年度から 21 年度にかけて、新型車両の導入とそれに合わせた地上設備改良等を実施し、平成 22 年 3 月からの高速運転開始とともに、2 年間の増便運行社会実験を実施した。その結果、年間乗車人員が平成 21 年度の 238 万人から平成 23 年度には 273 万人にまで増加し、社会実験後も増便数の約 8 割が確保され、平成 27 年度の年間乗車人員は 300 万人を超え、令和元年度まで 5 年連続 300 万人を超えている。

ウ 港湾

国際拠点港湾である姫路港は、港湾区域が東西約 18km にわたり、面積約 7,700ha を有しており、隣接する重要港湾東播磨港とともに、鉄鋼や化学産業等の製造業、電気・ガス等のエネルギー産業が集積する工業港として、地域経済の発展に重要な役割を果たしている。

平成 28 年度には、物流のみならず、産業基盤づくりなど幅広い視点から姫路港の将来像「姫路港の整備・利用のあり方」をとりまとめ、令和元年には、姫路港がこれからの地域を牽引する港としての役割を果たしていくため「物流・産業」「交流・生活」「自然・環境」「安全・安心」の 4 つの機能が融合した活気ある港の実現を目指し、令和 10 年代半ばを目標とする港湾計画の改訂を行った。

(9) 福祉、医療

ア 福祉

中播磨地域の高齢化率は 27.3% (令和 2 年 2 月 1 日現在) で、県下平均 (28.7%) より若干低い、地域内において差が生じている。

区 分	兵庫県	中播磨	備 考
65 歳以上人口	1,567,339 人	156,206 人	高齢化率 ・最高 市川町 38.1% ・最低 姫路市 26.9%
高 齢 化 率	28.7 %	27.3%	
要支援・要介護認定者数	312,047 人	34,100 人	
ひとり暮らし老人	286,374 人	25,664 人	
老人クラブ会員	274,426 人	55,385 人	加入率 全県 14.8%、中播磨 29.9% (平成 31 年 4 月 1 日現在)
養護老人ホーム	42 か所	4 か所 (うち姫路市 3 所)	公立 2 社会福祉法人 2 (平成 31 年 3 月 31 日現在)
特別養護老人ホーム	443 か所	55 か所 (うち姫路市 49 所)	社会福祉法人 55 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

- (注) 1 65 歳以上人口等は、市町からの報告に基づく健康福祉部情報事務センター資料。
 2 ひとり暮らし老人数は、平成 27 年度国勢調査による数である。
 3 老人クラブは 60 歳以上が対象であり、加入率は 60 歳以上人口に占める会員数の比率である。

イ 医療

中播磨地域においては、県立姫路循環器病センターが昭和56年に設置され、第一次、第二次、第三次救急医療体制が整備された。平成25年3月には製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターの開設により、第三次救急医療体制が強化された。加えて、製鉄記念広畑病院は兵庫県ドクターヘリの準基地病院として平成27年1月よりヘリの駐機を開始しており、離島地域及び中山間地域からの救急搬送時間短縮による救命率の向上が期待される。

また、がん医療水準の向上を図るため、姫路赤十字病院、姫路医療センターの2病院が平成19年1月にがん診療連携拠点病院に指定されている。

さらに、へき地医療の確保のため、製鉄記念広畑病院が平成19年1月にへき地医療拠点病院に指定され、へき地診療所(家島)への代診医の派遣を行っている。

なお、大規模災害に対応するため、平成8年10月に県立姫路循環器病センター及び姫路赤十字病院の2病院が、平成22年4月に姫路医療センターが災害拠点病院に指定されている。

なお、播磨姫路圏域において安定的、継続的に良質な医療を提供するため、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編し、令和4年に県立はりま姫路総合医療センター(仮称)が開設される予定である。また、製鉄記念広畑病院の後医療についても、その方向性が定まってきている。

区 分		兵庫県 (床)	人口10万対 (床)	播磨姫路圏域 (中播磨地域) (床)	人口10万対 (床)
既存病床数	一 般	53,148	975.9	5,509	966.6
	精 神	11,252	206.6	1,296	227.4
	結 核	150	2.7	0	0
	感 染	54	1.0	6	1.0
	計	64,604	1,186.2	6,811	1,195.0

(注) 兵庫県健康福祉部健康局医務課資料(令和2年4月1日現在)

(10) 教育、文化

中播磨地域には、大学が4校、短期大学が1校ある。このうち兵庫県立大学は、平成16年4月に旧3県立大学(神戸商科大学、姫路工業大学、県立看護大学)を統合し、設置された総合大学であり、管内には姫路工学キャンパス(工学部・電気電子情報工学科、機械・材料工学科、応用化学工学科)と姫路環境人間キャンパス(環境人間学部・環境人間学科)が設置されている。

姫路獨協大学は、平成18年4月に医療保健学部、平成19年4月に薬学部、平成28年4月に人間社会学群及び看護学部が設置された。

また、平成12年4月には姫路学院女子短期大学(福崎町)が4年制の近畿福祉大学(平成25年4月に神戸医療福祉大学に改称)に移行し、地域福祉の人材養成の拠点となっている。

さらに、平成19年4月には、看護学部を擁する近大姫路大学(平成28年4月に姫路大学に改称)が開学し、平成20年4月には教育学部が設置されている。

なお、ものづくり産業を支える人材力の育成を目的として「ものづくり大学校」が平成23年4月に開設され、平成25年1月には中学生等にもものづくり体験の機会を提供する「ものづくり体験館」が開設された。

ア 学校

区分	計	公立	私立	備考
大学	4	1	3	兵庫県立大学、姫路獨協大学、 神戸医療福祉大学、姫路大学
短期大学	1	0	1	姫路日ノ本短大
高等学校	25	18	7	
中学校	40	37	3	
小学校	77	77	0	
義務教育学校	3	3	0	姫路市立白鷺小中学校、姫路市立四郷学院、 姫路市立豊富小中学校
幼稚園	44	37	7	
特別支援学校	4	4	0	県立姫路特別支援学校、姫路市立書写養護学校 県立姫路しらさぎ特別支援学校 県立姫路聴覚特別支援学校
合計	198	177	21	

(注) 高等学校以下の学校(私立を除く)は兵庫県教育委員会調べによる。(令和2年5月1日現在)

イ 国指定重要文化財

(主なもの)

区分 市町名	建造物	絵画	彫刻	史跡	その他	合計
姫路市	20	5	8	6	9	48
福崎町			1			1
合計	20	5	9	6	9	49

国指定重要文化財	
姫路城大天守(国宝)他5件	姫路市
広峯神社宝篋印塔 他2件	姫路市
円教寺大講堂 他7件	姫路市
弥勒寺本堂	姫路市 夢前町
木造弥勒仏及両脇侍像	姫路市 夢前町
播磨極楽寺経塚出土品	姫路市 香寺町
木造薬師如来坐像	福崎町

(注) 兵庫県教育委員会播磨西教育事務所「令和2年度播磨西教育要覧」(令和2年5月1日現在)